

お知らせ

中部脳リハビリテーション病院・中部療護センターでは下記の要領で臨床研究を予定しています。

研究題名	中部療護センター患者の神経機能に関わる予後因子解析
目的	NASVA スコアによる神経機能評価において、退院時のスコア改善に影響を与える因子を導き出し、適切な治療プログラムに応用することです。
対象	2001年7月1日から2023年3月30日までに中部療護センターで入院治療を行って退院した自動車事故による重症脳外傷患者 334名の患者様のうち、カルテが残存している 293名を対象とします。
方法	調査項目は下記の通りです。 入退院時の NASVA スコアの他、年齢、性別、受傷時の Japan Coma Scale、受傷時の Glasgow Coma Scale、頭部外傷（脳挫傷、びまん性軸索損傷、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、外傷性くも膜下出血、頭蓋骨骨折）、頭蓋外病変（胸部臓器損傷、腹部臓器損傷、大血管損傷、脊髄損傷、骨折）、低酸素脳症の有無、外傷性てんかんの有無と抗てんかん薬、発作型と発作頻度、脳外科手術、頭蓋内感染の有無など NASVA スコアの改善、もしくは悪化に影響を与えた因子について多変量解析を行います。
人権擁護	ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行います。
研究代表者	矢野大仁（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

本院では患者様より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれらの患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に関わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。この件につきまして疑義がございましたら令和6年5月31日までに下記までお申し出ください。

中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター 矢野大仁
TEL: 0574-24-2233, FAX: 0574-24-2230

令和6年 5月 8日
中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター
事務長 坂下重吾